

IV 学習指導実践事例

1 実践事例 1 <保健教育> (滑川町立滑川中学校)

保健体育科 (保健分野) 学習指導案

令和元年10月29日 (火) 第5時限 多目的室
 第1学年2組 男子15名 女子18名
 滑川町立滑川中学校 教諭 青柳 美桜

1 単元名 「心身の機能の発達と心の健康」
 (イ) 生殖に関わる機能の成熟 「異性の尊重と性情報への対処」

2 単元について

小学校4年生の時に年齢に伴う変化及び個人差、思春期の体の変化について理解することを学習している。また中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に伴って性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、身体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。

本単元は、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解した上で、性情報に適切に対処する力をつけることをねらいとしている。

3 生徒の実態 (省略)

4 教師の指導観

本単元の「性機能の成熟とそれともなう変化に対応した適切な行動が必要になることを理解する」ねらいへの手立てを①科学的に理解させる。②生徒がお互いに学び合うことで理解を深める。③学習の中から見えてくる生徒の意識の変容や要望を次の学習へつなげる。という三つの視点から考えた。まず、掲示資料、VTRなどの視聴覚教材やモデル教具の活用を通して、SNSを利用した性犯罪やネット犯罪が増えていることを理解できるようにする。次に知識の伝達だけに止まらず、生徒が互いに学び合い、考えを深め合うための工夫として、グループ学習形態をとり、意見の交換がしやすい環境を作る。その中で身近な性の問題についてグループディスカッションやケーススタディで話し合いをすることにより、自分の問題としてとらえ、正しい行動選択へとつなげていきたい。さらに、生徒の学びの過程でワークシートを活用することで、生徒が自分の問題として考え、理解し、意識の変化を確認していくことができるようにする。また、それを踏まえ、より生徒の興味・関心に基づいた授業の展開を図りたい。

5 単元の目標

- (1) 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決を目指して、科学的に考え、判断しそれらを表すことができるようにする。 【思考・判断】
- (3) 心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。 【知識・理解】

6 評価規準

	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
関心・意欲・態度	心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	① 生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ② 生殖にかかわる機能の成熟について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断	心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決を目指して、科学的に考え、判断し、それらを表している。	① 生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ② 生殖にかかわる機能の成熟について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、道筋を立ててそれらを説明している。

知識・理解	心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	① 思春期には内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ② 思春期には生殖にかかわる機能の成熟にともない、妊娠が可能となることについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ③ 生殖にかかわる機能の成熟に伴い、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることから、異性を尊重した態度や行動の選択が必要であることについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ④ 性情報への対処など性に関する適切な態度や行動選択が必要になることについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。
-------	-------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7 単元の指導と評価計画（全4時間） 本時は○印

時	学習内容・ねらい	関・意・態	思・判	知・理	評価方法
1	<p>「生殖にかかわる機能の発達」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組むことができる。 思春期には内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することについて理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 小学校の学習を振り返りながら、思春期にみられる体の変化について確認する。 何のために思春期になると男女の特徴がはっきりしてくるのかを考え、意見を出し合う。 体の中ではどんな変化がおこっているのかを教科書等で調べ、ワークシートにまとめる。 月経・射精の起こる仕組みについて理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられること </div>	①		①	<p>観察・発言</p> <p>観察・ワークシート</p>
2	<p>「受精と妊娠のしくみ」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生殖にかかわる機能の成熟について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。 思春期には生殖にかかわる機能の成熟にともない、妊娠が可能となることについて理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 絵本の朗読を聴き、学習課題について考える。 受精・妊娠のしくみについて理解する。 妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 思春期には生殖にかかわる機能の成熟にともない、妊娠が可能となること </div>		②	②	<p>観察・発言</p> <p>ワークシート</p>

3	<p>「異性の尊重」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖にかかわる機能の成熟について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、道筋を立ててそれらを説明することができる。 ・生殖にかかわる機能の成熟に伴い、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることから、異性を尊重した態度や行動の選択が必要であることについて理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 思春期の心身の変化について確認する。 2 男女の異性への気持ちの表し方の違いを考え、男女の性的な刺激に対してのとらえ方の違いを理解する。 3 異性と上手に関わるために、どんなことについて考え、行動すれば良いかを考える。 4 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから異性を尊重する態度や行動の選択が必要となること </div>		②	③	<p>観察・ワークシート</p> <p>観察・ワークシート</p>
④	<p>「性情報への対処と適切な態度や行動選択」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明することができる。 ・性情報への対処など性に関する適切な態度や行動選択が必要になることについて理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 SNS を利用した性犯罪が増えていることを知る。 2 正しい性情報の選択の必要性や SNS の危険について理解する。 3 性情報への適切な対処など性に関する適切な態度や行動の選択について考える。 4 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応して、性情報への適切な対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること </div>		①	④	<p>観察・漫画分析シート</p> <p>観察・付箋ワークシート</p>

8 本時の学習と指導（4/4）


（1）ねらい

- ・生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明できる。 【思考・判断】
- ・性情報への対処など性に関する適切な態度や行動選択が必要になることについて理解したことを言ったり、書き出したりできる。 【知識・理解】

（2）資料及び準備するもの ワークシート、付箋

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び評価（指導○ 評価◆）
<p>導入 10分</p>	<p>1 動画を見る。 ・アンケートで取った「思春期のイメージの色」の結果を知る。</p>  <p>2 アンケートの結果を見る。 ・なにか知りたいことを調べる方法と性に関することで知りたいことを調べる方法では生徒の調べる方法が違うことを意識させる。</p> <p>3 本時のねらいを確認する。</p>	<p>○思春期である生徒の楽しそうな写真や頑張る姿の写真を用いた動画を見る。 ○思春期のイメージを色で想像させる。 ○思春期はいいものだということ、大人になることは素晴らしいことだということ を意識させる。 ○素晴らしい思春期を過ごすことが素晴らしい人生につながることを伝える。 ○映像として生徒が答えたイメージの色を出す。 BGM「にじいろ」 絢香 ○歌詞を映す。 ○柔らかい雰囲気です授業を行えるようにする。</p> <p>○性に関することは恥ずかしさなどから、インターネットで調べる事が多い事をおさえる。 ○インターネットの普及が結果につながっていることを理解する。 ○調べずに自分で解決してしまう人もいることにも着目する。</p> <p>○本時のねらいを白板に写す。 ○本時のねらいと学習内容を確認し、授業の見直しをもたせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>性情報への対処を考えよう</p> </div>		
<p>展開 30分</p>	<p>4 SNS を利用した性被害が増えてきている事を学ぶ。 ・特に自画撮りの被害者が増加していることを知る。 ・被害に遭った子供の中で中学生の被害者が半分以上だという事を知る。</p>  <p>5 自画撮りの危険についての漫画を見る。</p> 	<p>OSNS の危険を感じさせる。 ○中学生で被害に遭っている人が多いことを押さえ、身近に起きていることだと実感させる。</p>  <p>○グループディスカッションの約束事（役割を果たす。自分の意見をきちんと伝える。人の意見をしっかりと聞く。時間厳守。）について確認する。 ○性情報には、いたずらに性衝動をあおるものや正しくない情報が含まれていることも少なくないことを押さえる。 ○画面の表面的な情報を鵜呑みにしないで、客観的に判断することの重要性に気付かせる。 ○性情報に惑わされないためにはどのような対処ができるか、良いか悪いかを考えさせワークシートに記入させる。 ○漫画を分析して学んだことを生かしながら、性情報への適切な対処や行動の選択の必要性について考えをまとめさせる。</p>

	<p><予想される生徒の反応></p> <p>①アオトに対するイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそう ・かっこいい ・明るい感じ ・気が合いそう ・さわやか ・友達になれそう <p>②ターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生 ・猫好きの子 <p>③テクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすそうなトップ画 ・かっこいい男の子 ・まず自分が自撮りを送る ・送られてきたから自分も送らないといけない雰囲気を作る。 ・断りにくくしている ・気軽な内容から画像を送る事に抵抗を無くさせている ・褒めて気分をよくさせる <p><グループワーク1></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 漫画を見て項目ごとに危険だと思ったことを付箋に書く。 (2) 付箋を項目ごとに貼り出す。 (3) 危険から身を守るためにすべきことを考え、話し合う。 (4) 項目ごとの危険と正しい対処方法を各班が発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・分析結果を基に、性情報の裏側に隠れていることについて考え、ワークシートに記入する。 <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応して、性情報への適切な対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること 	<p>○情報に振り回されないための行動を考えさせる。</p> <p>○情報に惑わされた結果、性犯罪被害や事件が増加していること、犯罪事例を挙げ正しい情報の選択の大切さを確認させる。</p>  <p>◆生殖にかかわる機能の成熟について、健康に関する資料や教科書等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 【思考・判断】</p> <p>「努力を要する」状況（C）と判断された生徒への手だて（支援） 教師の助言や班員の生徒の意見を参考にさせる。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>6 本時のまとめをする</p> <p>7 性情報への対処を学んだ上で友達が「SNS で知り合った人と会う」と言ってきたら何と言うかをワークシートに書く。</p> <p><指導すべき内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応して、性情報への適切な対処や行動の選択が必要となること <p>8 教師の話を聞く。</p>	<p>○常に危険が身近にあることを考えながら性情報と付き合っていくことを押さえさせる。</p> <p>○結果を予測することが大切であること、また、性情報への適切な対処や行動の選択には一人一人が責任ある行動をとることが大切であることを伝える。</p> <p>○今日学習したことをもとにして、理由を付け加えながら友達へのアドバイスを書かせる。</p> <p>◆性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動選択が必要になることについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。 【知識・理解】</p> <p>「努力を要する」状況（C）と判断された生徒への手だて（支援） 1時間の授業のキーワードを板書により確認させる。</p> <p>○万が一、事件に巻き込まれそうになったり、巻き込まれてしまったりした場合は、すぐに周りの大人に相談することを伝える。</p>

(4) 板書計画 (省略)

2 実践事例 2 <安全教育>

令和元年度「学校安全総合支援事業」

主体的に行動できる児童生徒の育成を目指す安全教育の推進

【モデル地域：川越市教育委員会 モデル校：川越市立霞ヶ関西小・中学校】
(市立学校 小学校 32 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校、高等学校 1 校)

1 はじめに

川越市教育委員会では、平成 28 年度から、安全教育の質を高めるため、安全教育研修会を企画し、毎年、その年度に課題とするテーマを精選した上で研修会を実施してきた。さらに今年度は、本事業の再委託を受け、モデル校を中心に安全教育についての研究を行った。防災教育については、アドバイザーに慶應義塾大学 准教授 大木聖子氏を招聘し、専門的な見地のもと様々な取組を実施し、市内での実践事例の共有化を図った。本事例は、その中の「避難訓練の見直し」についての実践である。

2 実践事例「避難訓練の見直し」

(1) 令和元年度 安全教育研修会

① 内容

- ・防災教育の重要性について
- ・「避難訓練の見直し」について
- ・同一校区間での取組の情報共有及び今後の改善について
- ・市内モデル校の取組について

② 様子等

- ・同一校区での校種間グループで、各校の避難訓練について、大木氏の講義の中の視点で協議した。
- ・管理職の視点と、安全教育主任の視点とで様々な意見が出され、各校の実態を振り返るとともに今後の課題について考えることのできる研修会となった。
- ・大木氏に依頼し、避難訓練を計画したり、振り返ったりすることで見直しを図ることのできる「避難訓練実施レポート」の様式を作成した。本研修会では、その活用方法について説明するとともに、モデル校での活用例についても共有した。

実施日：令和元年 8 月 5 日（月）

講師：慶應義塾大学 准教授 大木聖子氏

参加者：各校 管理職と安全教育主任（合計 107 名）

慶應義塾大学環境情報学部 准教授 大木 聖子

まずは避難訓練を改善しよう

もしかして、こんな時代遅れな訓練やっていますか？！

先生が指示してアクション？

- ✓ 「地震です。机の下に入りましょう」・・・？
- ✓ 立っている先生より先に、座っている子供たちが揺れに気づきます。
- ✓ そもそも強い揺れでは話すこともできません。

校庭にいるなら中央でしゃがむ？

- ✓ 校庭にいる時に地震が発生したら、真ん中に集まってしゃがむ？
- ✓ 強い揺れの渦中に移動するのはほとんど不可能です。

校庭集合を校内放送？

- ✓ 停電でも校内放送は使えますか？
- ✓ 耐震性のある校舎を出て、わざわざ校庭に集合する理由は？

訓練の評価は集合までの時間？

- ✓ 「揺れから命を守る」部分の振り返りは？

研修会資料の抜粋（大木聖子氏作成）

(2) 「避難訓練実施レポート」を活用した見直し

① 事前

避難訓練の説明時等に教職員全員に配布する（訓練ごとに・ショート訓練を含む）。その際、「訓練で想定する状況」を一斉に記入する（管理職や安全教育主任が記入し、配布している場合もある）。

② 避難訓練

全教職員がそれぞれの立場で、事前に想定したことを念頭に避難訓練に参加する。

③ 事後

訓練が終了したら「訓練実施後の記入欄」を各自で記入し、全体で共有する。

避難訓練実施レポート		
学校名	記入者名	記入日
訓練で想定する状況		
実施予定日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	
設定時間	授業中・休憩中・給食中・掃除中・始業前・放課後・部活中・登校中・下校中・その他 ()	
設定場所	普通教室・特別教室 () ・校庭・体育館・通学路・移動先 ()	
設定状況	停電・大雨・行方不明者発生・けが人発生・管理職不在・在校人数不明・移動先・その他 ()	
教職員の動き		
訓練実施後の記入欄		
実施日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	
訓練の実態 想定していたこととの相違点		
ほしい支援 どのような支援があれば改善できると思うか		

訓練で想定する状況		記入例
実施予定日時	令和元年 9月 2日 (月) 10時 45分 ~ 11時 15分	
設定時間	授業中 休憩中・給食中・掃除中・始業前・放課後・部活中・登校中・下校中・その他 ()	
設定場所	普通教室 特別教室 (理科室) ・校庭 体育館 通学路・移動先 ()	
設定状況	停電・大雨・行方不明者発生・けが人発生・管理職不在・在校人数不明・移動先・その他 (①職員室前のショーケースが割れ、ガラスが散乱する → 職員室前は避難経路として使えない ②余震が2回起きる【発生する時間は管理職のみが知っている】)	
教職員の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・停電で放送が使えないため、教頭が各フロアをまわる。 ・学年ごとに教員が廊下に出て、状況確認を行う。 ・授業のない教員は、校舎内状況を確認し、校長へ伝える。 ・教室内待機か、校庭避難かの判断が、放送無しでどのくらいかかるのかを意識して実施する。 	

訓練実施後の記入欄		記入例
実施日時	令和元年 9月 2日 (月) 10時 45分 ~ 11時 15分	
訓練の実態 想定していたこととの相違点	自分自身： ・教頭先生の声が自分のクラスには聞こえない。次回は教頭先生の声を伝達していく役割も決めておくことよいのでは。 生徒： ・子供たちは皆、真剣に退避行動がとれていた。1学期に行った3つのポーズが身に付いてきている。 その他： ・教頭先生一人で各フロアをまわることには無理がある。放送が使えないときにどのように教員が主体的に動くべきかが今後の課題。	
ほしい支援 どのような支援があれば改善できると思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・拡声器の数を増やしてほしい。 ・職員室前の賞状の額を何とかした方がよいのでは。 ・次回は管理職不在の設定で実施してみたい。 	

(3) 成果と課題

① 成果

- ・“安全教育主任が”行っていた避難訓練が、“みんなで”行う避難訓練に変わった。
- ・形骸化していた避難訓練が、教職員も児童生徒も意識をもって実施できるようになり、新たな課題を見つけ、次に生かせるようになってきている。
- ・避難訓練実施後に全教職員からの意見をまとめ、それらを「避難訓練実施レポート」に再度記入し直し、次年度以降のマニュアルとして活用している学校もある。

② 課題

- ・モデル校での取組を、他校でも実践できるようなシステムの構築を図る必要がある。

3 おわりに

モデル校では、次年度以降も川越市の委嘱学校研究指定校に指定し、安全教育の研究を行っていく。具体的には、各教科や総合的な学習の時間、特別活動等において年間を通じて指導すべき内容を整理して、学校安全計画に位置付けることにより、系統的・体系的な安全教育を計画的に実施していく。また、それによる児童生徒への効果を検証分析し、結果を教育課程の改善につなげていくなど、カリキュラム・マネジメントの確立を通じて地域の特性や児童生徒の実情に応じた安全教育を推進していく。

川越市全体としては、各校の実践がさらに深まるように、モデル校の取組を共有できるようにしていきたい。

3 実践事例3 <食に関する指導> (三郷市立瑞木小学校)

令和元年度 埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会

研究主題 学び続ける子の育成

～家庭・地域・諸機関との連携を深め、
生きて働く食に関する資質・能力を身につけた児童の育成～

三郷市教育委員会【実践校 三郷市立瑞木小学校】

第2学年2組 学級活動学習指導案

令和2年1月22日(水)第5校時 教室

授業者 教諭 濱崎 好恵 (T1)

栄養教諭 齋藤 直子 (T2)

1 題材名 「おいしかったね！お正月のりょう理」

学級活動(2)エ 食育の視点を踏まえた学校給食と望ましい生活習慣の形成

2 題材について

(1) 教材観

給食を食べている時、よく厚揚げ、サトイモ等がわからないと児童に質問されることがある。家庭の食卓に上らないことも多く、伝統的な食材を知らない児童が増えている。また、年中行事の話をしてわからない児童も増えている。テレビで取り上げられたものなどは良く知っているが、あまり有名でないものは、わからないことが多い。厳密な意味は、大人でもわからなくなっているものが増えてきている。年中行事は、私たちが祖先から受け継いできた様々な願いがこもった行事であり、それが、食と密接に結びついている。少しでも、次世代へと継承していけたらと考え、本題材を設定した。また、季節によって様々な行事があるのだという理解の一助としたい。また、本校には、外国籍の児童が多数在籍する。本授業を通して日本という国の理解につなげるとともに、外国籍の児童の自分たちの国への理解や、私たちのそれぞれの国に対する理解につなげていきたい。

(2) 児童の実態

本学級は活発な児童が多く、図書館に行くことを好み、好奇心が強く読書が好きな児童が多い。学習面では、繰り返して取り組む漢字などはあまり得意ではないが、積極的に発表することは得意としている。朝運動には必ず全員参加し、粘り強く取り組む姿が見られる。食に関する面では、野菜が嫌いな児童が多く、給食時に減らしている児童がいまだに見られる。嫌いなものが少ない児童は、給食を積極的におかわりすることが多く、2学期は、食缶が空になることが多かった。また、ほとんどの児童が完食できるようになってきている。

日常の給食の様子を見ていると、伝統的な食材を知らない児童が多く、厚揚げ、高野豆腐、ひじきなどは見た目では嫌悪感を示し、これは「お豆腐の仲間だよ。」「わかめの仲間だよ。」と説明して初めておそろおそろ箸をつけている。同様に、季節の祝日や行事は意味が理解されていないことが多く、機会あるごとに説明をしている。給食でも、季節の「行事食」が出ることがあるが、放送を聞いて意味を理解することが多い。あるいは、食べた覚えはあるが、いつだかわからないなど、季節と結びついていない児童も多い。

(3) 指導観

今回は、自分が食べてきたという体験をもとに友だちの話聞き、さらに関心を高めていきたい。児童にとっては、お正月は楽しいものという認識があるが、食との結びつきは希薄であるため、その由来を理解できるように指導していきたい。日頃食べている給食の中にも実は、行事食が含まれていることを伝えてもらい、知らないと思っていた年中行事が自分たちから遠い存在ではないことを理解することにつなげていきたい。また、自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があることや、日常の食事は地域の農林水産物と関連していることを理解できるようにしたい。いろいろな国に行事食はあり、様々な願いのもとに食事がされていることの理解につなげたい。日本の食文化や食に関わる歴史にふれたり、諸外国の食事の様子を知ったりすることで、日本や諸外国の伝統や食文化を大切にするとともに、お互いに尊重できるよう働きかけたい。


3 本時のねらい

- ・正月という行事を通して、食べ物の中に様々な願いが含まれていることを理解する。
- ・日本の食文化にふれたり、諸外国の食事の様子を知ったりすることで日本や諸外国の伝統や食文化を大切にするには何が必要か考えることができる。

4 食育の視点

◇各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【食文化】

5 展 開

時間	学習活動	・指導上の留意点 ★食育の手立て		□資料 ◇評価規準
		T1 (担任)	T2 (栄養教諭)	
5分	1 お正月に食べたものについて想起させる。 T「お正月にどんなものを食べましたか。」 C1「お雑煮 おせち料理です」 C2「おもち くろまめです」 2 本時の課題を知る。	・お正月の食べ物を提示する。 ・調べてきたお雑煮について、話をする。	・お正月の料理について、写真などを使って提示する。	□お節料理の写真
お正月りょう理のひみつをしよう。				
10分	3 冬休みの宿題のシートを栄養シートに貼る。 ・分類した後、グループでどんなお雑煮だったか話し合う。 T「自分のお雑煮について、みんなとお話をしましょう」 T「気が付いたことをメモしましょう」 C1「野菜やお肉かお魚が必ず入っている」	・どんなものが入っているか声をかけながら、分類する。 ・グループでの報告について、話し合いの指示をする。	・分類の手伝いをする。	□分類シート □見本の掲示 ◇友だちの発表を聞き、自分の意見と似ていることや違いを比較したり考えたりしている。
10分	4 お正月の料理には意味があることを聞く。 T2「黒豆は、健康に暮らせませうように伊達巻は、勉強ができますよという意味があります」	・クイズのヒントを出す。 ・願いや意味に注目させる。	・正月料理のクイズをする。 ・クイズを通して正月料理の意味を話す。 ・珍しい食材の話を補足する。	【思考 判断】 □正月料理クイズの掲示 □料理の写真
10分	5 外国籍の児童のお正月について話を聞く。 ・バングラデシュ「6月のお正月について」 ・スリランカ「お祝いの料理について」 ・中国（児童の母 ゲストティーチャー）	・お正月の料理のお話を聞いて気が付いたことを話し合う。		
5分	6 グループで話し合いをする。 T「いろいろなお正月のお話を聞いて気が付いたことをグループで話しましょう。」 C1「お正月のお料理にはいろいろな意味があるんだね」	・お正月の料理にはいろいろな願いが込められていることを伝える。	・グループに声をかけて、補助をする。 ・給食も行事食が含まれていることを伝える。	◇お正月料理の話を聞き、その由来や願いを理解している。
5分	7 まとめをする。 ・シートにわかったことを書く。	・様々な食材に関心を持ち、食べようとする意欲へつなげる。		【知識 理解】